



平成30年
100周年
岩木川改修事業

To 100th Anniversary.

岩木川シンポジウム



平成30年 岩木川改修100周年記念事業 12月1日 岩木川シンポジウム開催

■「地域の宝・岩木川を未来へ継承し、未来へ発信する」をテーマに

岩木川シンポジウムを開催

岩木川改修事業が100周年という節目に、事業の足跡と水害の歴史を振り返るとともに、地域の宝である岩木川を未来へ継承し、未来へ発信するために何が必要かを考える岩木川シンポジウムを12月1日(土)、五所川原市ふるさと交流圏民センター(オルテンシア)において、岩木川改修100周年記念事業実行委員会会長佐々木五所川原市長はじめ約400名(満席)が参加し開催しました。

※当日は、大正7年12月1日に「内務省秋田土木出張所岩木川改修事務所」が開設し、国直轄による本格的な改修事業が始まった日から、ちょうど100年目となります。

シンポジウムでは八戸工業大学大学院 佐々木教授が「岩木川の歴史と改修の歩み」と題して基調講演を行い、十三湖の水戸口突堤が岩木川の治水と津軽平野の発展の礎となった貴重な土木遺産であることなどを紹介しました。

記念ビデオ「現在を魅せる津軽の郷“岩木川”」で岩木川の魅力を映し出した後、巖倉青森河川国道事務所長からは、現在の取り組みとして岩木川河川整備状況を紹介しました。



基調講演「岩木川の歴史と改修の歩み」
八戸工業大学大学院 佐々木教授



現在を魅せる津軽の郷“岩木川”
ビデオ上映

■岩木川改修100周年記念ビデオ上映
青森河川国道事務所
ドローン活用検討会アドバイザーの請川博一氏が総合プロデュースしたビデオを上映。

※請川氏はドローン空撮の第一人者としてプラタモリなどのテレビ番組やCMの空撮を手がけており、火口など人の立ち入り出来ない場所の調査などでも活躍しています。



～オープニングアトラクション～

津軽三味線

(五所川原第一高等学校 津軽三味線部 の皆様)



挨拶
五所川原市
佐々木市長



挨拶
東北地方整備局
高田局長



現在の取り組み紹介
青森河川国道事務所
巖倉事務所長

「地域の宝・岩木川を未来へ継承し、未来へ発信する」をテーマにパネルディスカッション

第1部:岩木川を軸とした津軽地域の魅力

～豊かな自然環境、観光資源、文化・伝統～



パネリスト
弘前路地裏探偵団
団長 鹿田智嵩 氏

活動を通じて、今の観光客のニーズは、単に有名観光地を巡るだけでなく、「自分だけのオリジナリティーのある旅」が増えている。インフラツーリズムは、そこに出来るまで背景(歴史)などその構造物の「用・強・美」の裏側にある『物語』が観光資源となる。岩木川はポテンシャルが高い。これからは、岩木川の地形や歴史的な変遷、昔の人々の暮らしぶりから『気づきのあるツアー』を新たに作って行きたい。



パネリスト
五所川原市 観光物産課 技能技師
立佞武多制作者 福士裕朗 氏

ねぶたの成り立ちにおいて、北前船から運ばれた文化が岩木川を上って影響を与えており、立佞武多の復活においても、河川敷で製作させてもらい岩木川との関わりが深い。現在では、120万人を超える人出があり、海外でも運行し好評を得ている。また、現在、高校生の立佞武多づくりを手伝いながら担い手の育成により、文化の伝承を図っている。



パネリスト
弘前大学 農学生命科学部
教授 東信行 氏

岩木川流域は、りんご園・水田地帯・ヨシ原・野鳥など自然が豊かで魅力があり、これらを強化し、生態系ネットワークを意識した地域づくりが必要。

岩木川を未来へ継承するには、自然環境の保護と河川整備の両方の観点から地域が連携し、未来像をイメージして議論していくことが重要。

第2部:岩木川に対する安心・安全な地域づくり

～防災・減災、自助・共助の重要性～



パネリスト
特定非営利活動法人 青森県防災士会
代表理事 小山内敬子 氏

恵みをもたらす岩木川にも、多くの災害がありましたが、これまで災害ボランティアとして活動した経験から弱者(高齢者・障がい者・子供)の心理を受け止めて寄り添う活動が必要。「誰かのために」「出来ること」を支援。災害に負けない地域を目指して、自助・共助・公助を連携して実践していくことが必要。



パネリスト
東北地方整備局 河川部長 高村裕平 氏

■第1部

全国(コウノトリ)と東北(大型水鳥類等)の生態系ネットワークの取り組みを紹介。生態系ネットワークを通じて、ブランド化や観光、国土保全などにより地域の魅力・活力が生まれる。

■第2部

全国各地で記録的な豪雨が発生し、岩木川流域でも、いつ豪雨があってもおかしくない。しかし、未だ治水施設の整備は途上である。

そのため、ソフト対策を進めることが必要。ハザードマップの周知・理解が重要。

コメンテーターまとめ



コメンテーター
八戸工業大学 大学院
教授 佐々木幹夫 氏

我々が経験したことのある大雨については、堤防も出来てきておりある程度対応出来ているが、今までに経験したことのない大雨が全国で発生していることから、自分の命を助けるため、避難経路や避難場所などを年に1回くらいは家族・地域で確認すべき。小山内さんの活動と連携していくことが必要。

コーディネーターまとめ



コーディネーター
東奥日報社弘前支社 編集部長 石鉢康範 氏

100年という節目に、岩木川から享受している恵み(自然、伝統文化、水道、農産物等)を再確認し、災害をハード面だけではなく、ハザードマップを活かすなど『川を正しく恐れる』という考えた方も必要。

ホームページを開設中です!

当ホームページでは100周年記念事業に関連する「各種イベント情報(パネル展)」や「岩木川の改修の歴史」、「岩木川改修100周年記念ビデオ」などの情報が、閲覧できます。

(ホームページURL)

<http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/river/topics/iwaki100th/index.html>

平成30年
100周年
岩木川改修事業

ホームページバナー



QRコード